

1 審議会名	上田城南地域協議会
2 日 時	令和2年10月15日 午前10時00分から午前11時45分まで
3 会 場	城南公民館 1階 大ホール
4 出 席 者	相田委員、小野澤委員、小林委員、櫻井委員、田玉委員、龍野委員、田中委員、原田委員、増澤委員、松田委員、宮坂委員、宮澤委員、安江委員、柳澤委員、山岸委員、若林委員、渡辺里香委員
5 市側出席者	【事務局】村山城南地域振興政策幹、内藤地域内分権推進担当係長、西澤地域内分権推進担当主査、片山地域内分権推進担当主査
6 公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公 開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7 傍 聴 者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和2年10月16日

協 議 事 項 等

次第

1 開会

2 あいさつ

3 協議事項

(1) 調査研究の実施について

○地域協議会の任務について事務局より説明

○委員からの調査研究に関する意見をまとめた「意見一覧」に基づき事務局より説明

(会長) 地域協議会は市に対して意見を述べること(提言)ができる。調査研究というと難しく聞こえるかもしれないが、勉強会により知識を深め、調査研究に値するような事案となれば、その時点から調査研究に方向転換していくこともよいかと思う。

(委員) 指定避難所等が早急の課題ではないかと思う。城下だけでなく川辺・泉田を含めたことを考え、共通した課題をピックアップして調査研究していくことがよいのではないか。

(会長) 自分自身も昨年の台風19号災害の際、川辺小学校に避難したが一杯だったため、創造館や川辺・泉田地区防災センターに避難誘導があり苦勞した。今後、地区を超えての避難が必要になった場合、指定避難所の受け入れがどうなるのか、どのように避難誘導することになるのか知りたい。

(委員) 城南全体を見ると防災、川辺・泉田に限ると高齢者の問題が大きいかと思う。

高齢者の皆さんの“困りごと”の実情は、安全カードなどで事前に聞いている状況と、実際に訪問してその方とお話した状況とでは困っている大変さの度合いが違っているのを感じる。地域の実情を調べることも大事だと考えている。調査研究は大事だと思うので、どのテーマに決まっても、それについて取り組んでいきたい。

(委員) 「意見一覧」があるということは、各意見を出した人がいるということ。その人に意見をお聞きした方が出されている意見の内容が伝わり、テーマが決まるのではないか。

(会長) 防災、高齢者福祉の2つについては大きなテーマかと思う。まずは決めたテーマに対して勉強会を開いて理解を深め、その流れの中で結果として調査研究に取り組んでいく方が自然ではないか。3テーマに分ければ、1テーマ6~7人ほどで取り組めるのでバランス的にもよい形になる。

(委員) 広報うえだ8月号でも、分散避難の特集記事が掲載されているが、緊急情報伝達等の仕組みが重要になる。コロナ禍の中で、実際に指定避難所に避難できるのは何人になるか分からない。全体からすると数%しか指定避難所には入れないのではないか。調査研究していかなければならない喫緊の課題である。それぞれの自治会では独自に取り組み始めているが、実際にどう取り組むのがよいのか調査研究したい。

(委員) 高齢者の買い物手段、免許返納後の交通手段を取り上げた。平成30年に中央地域協議会が意見書を市に同様の意見書を出しているが、今回、更に調査研究をして提言できればと思う。

(委員) なぜ城南地域に総合病院がないのかとずっと思っていたため、地域医療に関する意見を提出したが「意見一覧」の中から産業振興の分類について勉強してみたいと思った。これから先、地域の活性化を考えた時に避けては通れないものかと思う。

(委員) コロナ禍で皆さん大変な思いで商売をされている。現代の様な情報社会の中でも、まだ地元住民が城南地域の店舗・企業の情報を知らないことが多い。まずはこの地域にどのような店舗・企業があるのか調査し、ネットやSNS媒体にて住民に提供したい。それが城南地域の活性化に繋がるのではないか。3つ目のテーマに産業振興はいかがか。

(会長) 防災・高齢者福祉・産業振興の3つのテーマとして、各6人程に分かれて勉強していく形でよいか。

(委員) それぞれの分野から選出されている委員さんはその分野に関するテーマに付いていただき、それ以外の方は自分で取り組みたいテーマを決めていただく形がよいのではないか。

(事務局) まず、市の担当課がそれぞれのテーマに対しての説明をし、それを聞いてからどのテーマについて勉強していくか決める方法もあります。

(委員) 市からの説明を受ける勉強会は是非お願いしたい。

(委員) 先に部会メンバーを決めてから勉強会を開催する方が効率よいのではないか。

各委員からの希望を確認し、部会分けを行う。

——休憩——

担当部会

防災⇒相田委員、小野澤委員、櫻井委員、竹内委員、田玉委員、宮澤委員、渡邊規夫委員

高齢者福祉⇒龍野委員、田中委員、原田委員、増澤委員、宮坂委員、柳澤委員、渡辺里香委員

産業振興⇒江藤委員、小林委員、松田委員、安江委員、山岸委員、若林委員

(会長) このあと各部会に集まって、部会長、副会長、書記を選出し、どのようなことを勉強していくのか優先順位を話し合っていたきたい。

——3 部会に分かれて協議——

(会長) 次回もこの延長上で各部会に分かれて話し合いをし、もう少しはっきりしたテーマを決める形にしたい。

(事務局) 次回以降の会議の形式について、協議事項が生じた場合は先に協議を行い、その後、各部会に分かれてそれぞれのテーマについて意見交換を行う。また、市の担当課から説明を聞く場合には、別室にて部会を開催する。

(2) その他

各部会の担当事務局職員

防災⇒西澤地域内分権推進担当主査

産業振興⇒内藤地域内分権推進担当係長

高齢者福祉⇒片山地域内分権推進担当主査

4 その他

次回の開催予定

日時 11月19日(木) 午前10時から

場所 城南公民館 大ホール

5 閉会